のま　ひとね
野間　仁根（1901～1979）

洋画家。越智郡津倉村（現、今治市）出身。東京美術学校（現、東京藝術大学）に入学して在学中から個展を開催し、二科展に出品、入選するなど作家活動をはじめる。以後、二科展に出品を続け、樗牛（ちょぎゅう）賞や二科賞を受賞するなど順調に画家としての道を進む。また、新聞連載小説の挿絵でも活躍。終戦後、二科会の再建に審査員として参加するが、やがて二科会を離れ一陽会を結成。以後、一陽会の発展に尽くす。個展の開催も多く、旺盛な創作活動を続けた。自由で屈託のない作風は、生涯変わらない特質であり、画面からは絵を描く喜びがあふれている。

芸術

略歴

明治34(1901)年２月５日	越智郡津倉村に生まれる。
大正９(1920)年４月	川端画学校を経て、東京美術学校に入学
大正13(1924)年	童顔社展をはじめ、中央美術展、光風会展などに出品
	第１回個展開催
	二科展に初入選。以後、毎回出品
大正14(1925)年	東京美術学校卒業
昭和３(1928)年	「夜の床」を第15回二科展に出品、樗牛賞受賞
昭和４(1929)年	「The Full Moon」を第16回二科展に出品、二科賞受賞
昭和８(1933)年	二科会会員となる。
昭和19(1944)年	郷里に疎開。二科会解散
昭和20(1945)年	再建二科会に審査員として参加
昭和27(1952)年	日本美術展覧会に審査員として出席
昭和30(1955)年	二科会脱会。一陽会結成、第１回展開催
昭和42(1967)年	田崎広助・鈴木信太郎と三人展開催
昭和54(1979)年12月30日	78歳で永眠

（写真提供：今治市吉海郷土文化センター）

〈関連図書〉
・野間仁根『呑馬先生釣日記』　オリオン社　1962年
・『野間仁根画集』　三彩新社　1980年
・『野間仁根遺作展図録』　三彩新社　1980年
・『えひめ　人　その風土』　愛媛新聞社　1986年
・『県民メモリアルホール　人物探訪第１集』　愛媛県生涯学習センター　1997年

〈主な収蔵資料〉…（P214，86）

〈関連施設〉…今治市吉海郷土文化センター
〒794-2103　愛媛県今治市吉海町福田1290　TEL：0897-84-2566
愛媛県美術館
〒790-0007　愛媛県松山市堀之内　TEL：089-932-0010